

平成 19 年度秦野市W e b アンケート調査
(第 1 回目)
報告書

平成 19 年 9 月

秦野市

目 次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的	2
2	調査の設計及び回収結果	2
3	アンケートの調査項目	2
4	調査結果をみる上での注意事項.....	2
	(1) 調査結果をみる上での注意事項.....	2
II	調査結果（第1回目）	3
1	属性	5
	(1) 性別	5
	(2) 年齢	5
	(3) 住んでいる場所.....	5
2	秦野市の ^{まち} 都市について	6
	(1) 秦野市の魅力	6
	(2) 秦野市の ^{まち} 都市づくりへの期待.....	7
3	じばさんずについて.....	8
	(1) じばさんずの評価	8
	(2) じばさんずへの改善・要望.....	10
4	市民農園について	12
	(1) 市民農園の利用希望	12
	(2) 利用している（利用したい）市民農園	13
	(3) 市民農園の利用理由	14
	(4) 市民農園への改善・要望	16
5	農業への参入について	17

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は秦野市の行政サービスの向上と、市民の行政に対する意識向上のための基礎資料とするために実施する。

2 調査の設計及び回収結果

本調査の実施方法は以下のとおりです。

① 調査地域	市内全域
② 調査対象	秦野市のネット調査会社の登録者
③ 対象者数	300人（回収ベース）
④ 母集団	秦野市のネット調査会社の登録者約 1000人
⑤ 抽出方法	全数
⑥ 調査方法	ネット調査（ヤフーバリューインサイト株）
⑦ 調査期間	平成 19 年 8 月 20 日（月）～8 月 24 日（金）
⑧ 調査機関	㈱経済立地研究所

3 アンケートの調査項目

アンケートの調査項目の詳細は別紙調査票のとおりである。

秦野市の「地域農業振興計画」策定に付随する、秦野市の農業について調査項目を設定した。

4 調査結果をみる上での注意事項

（1） 調査結果をみる上での注意事項

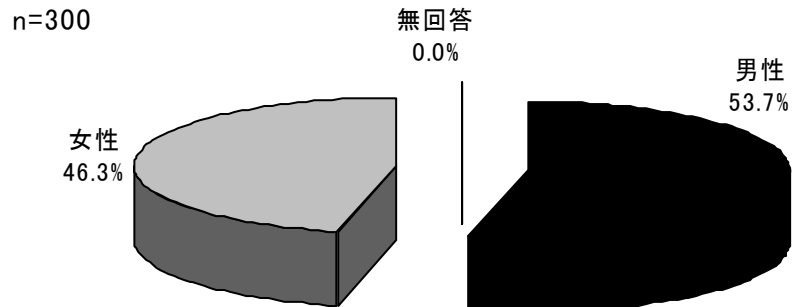
- ① 回答はn（有効回収数）を基数とした百分率で表わし、小数点第 2 位を四捨五入しました。このため、百分率の合計が 100%にならない場合があります。
- ② 集計結果の表やグラフでは、コンピューター入力の都合上、回答の選択肢の言葉を短縮して表現している場合があります。
- ③ 全調査項目より選定したもののみを掲載した。

II 調査結果（第1回目）

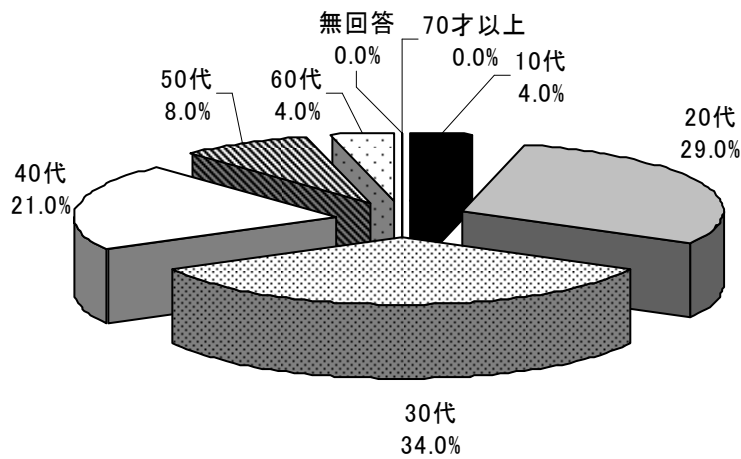
1 属性

(1) 性別

「男子」は 53.7%、「女子」は 46.3%となっています。

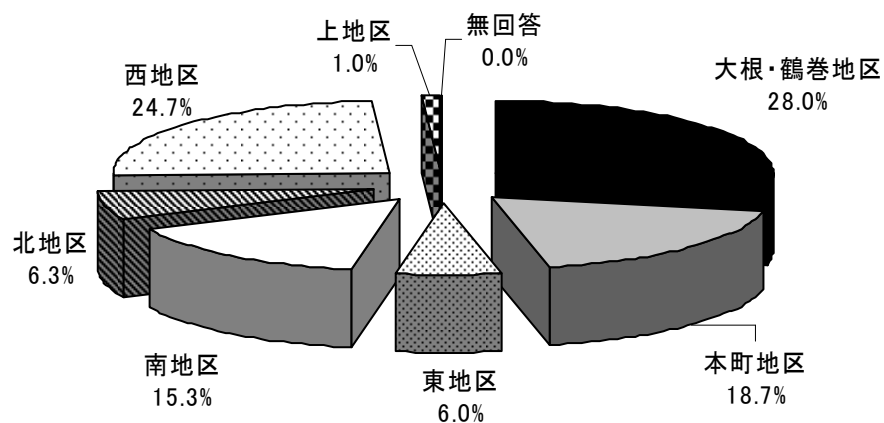


(2) 年齢



(3) 住んでいる場所

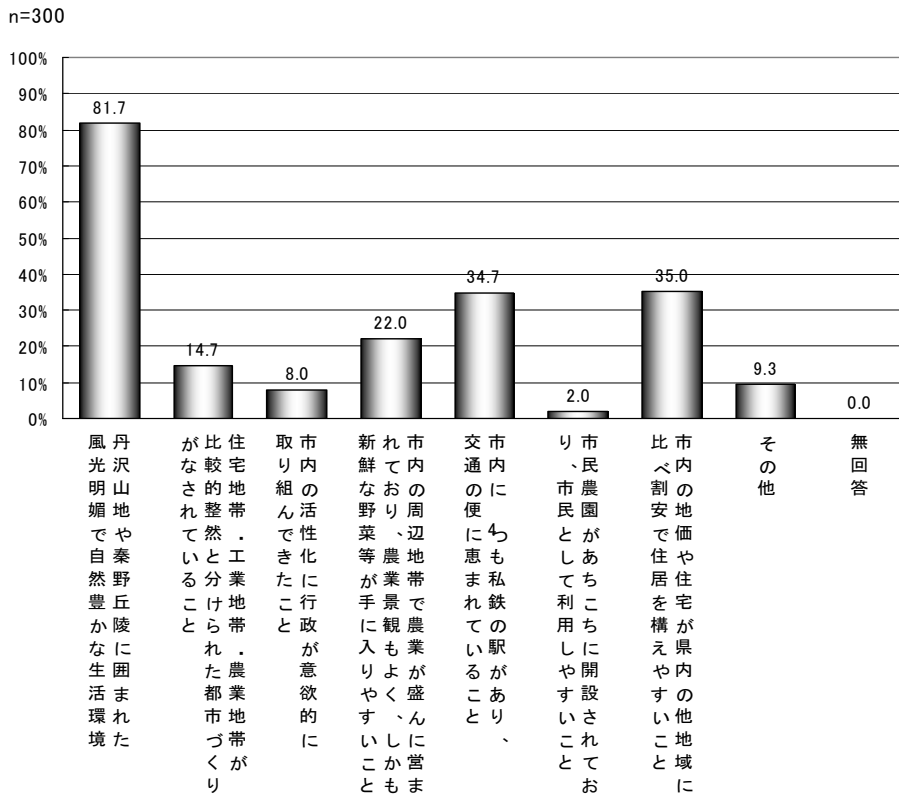
n=300



2 秦野市の都市について

(1) 秦野市の魅力

「丹沢山地や秦野丘陵に囲まれた風光明媚で自然豊かな生活環境」が 81.7%と最も比率が高くなっている。次いで「市内の地価や住宅が県内の他地域に比べ割安で住居を構えやすいこと」35.0%、「市内に4つもの私鉄の駅があり、交通の便に恵まれていること」34.7%とつづく。



性別では、「丹沢山地や秦野丘陵に囲まれた風光明媚で自然豊かな生活環境」は20代で66.7%と支持の比率が他より少し低い。また、「市内の地価や住宅が県内の他地域に比べ割安で住居を構えやすいこと」も20代で8.3%と低くなっているのが目立つ。「市内に4つもの私鉄の駅があり、交通の便に恵まれていること」は20代と60代で比率が高くなっている。

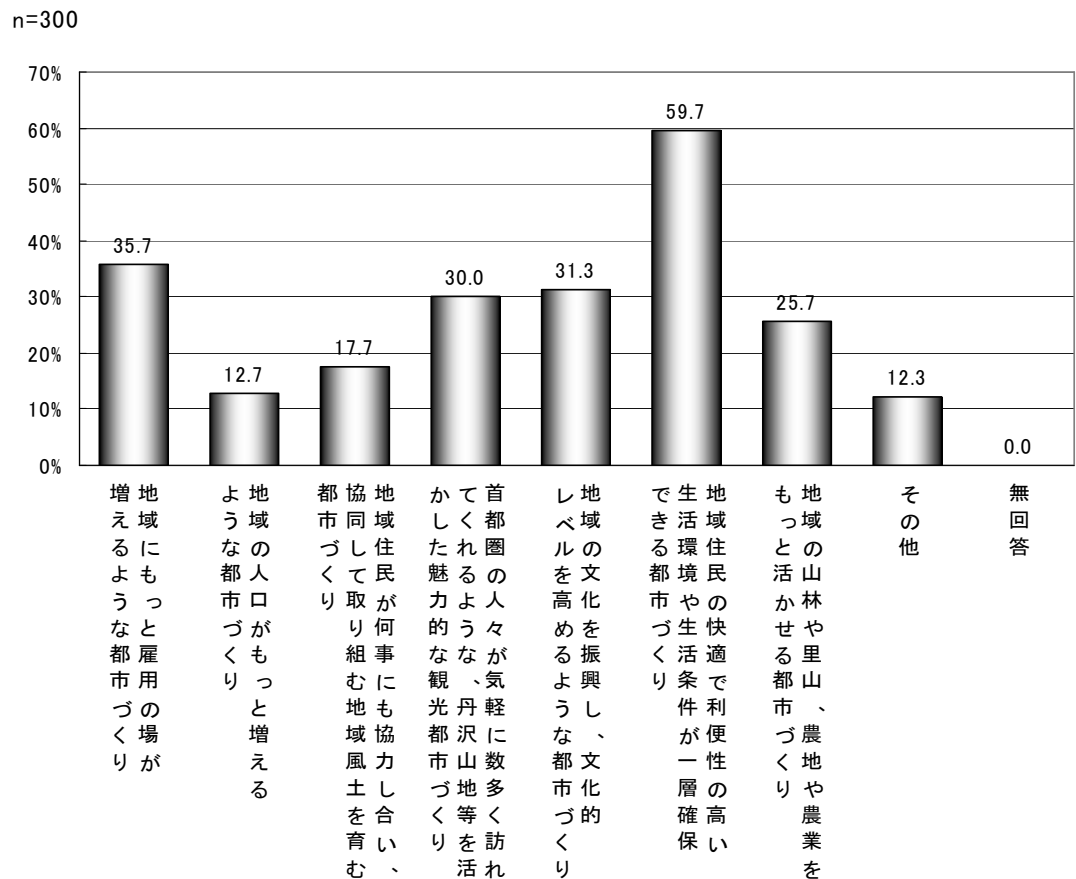
Q15 秦野市に居住する市民として、秦野市の魅力をどう感じておられますか。

特に魅力を感じる点を3つまでお選びください。[MA]

%	全体 (実数)	丹沢山地や秦野丘陵に囲まれた風光明媚で自然豊かな生活環境	市内の地価や住宅が県内の他地域に比べ割安で住居を構えやすいこと	市内に4つもの私鉄の駅があり、交通の便に恵まれていること	新鮮な野菜等が手に入りやすいこと	市内の周辺地で農業が盛んに営まれていること	市内の活性化に行政が意欲的に取り組んできたこと	市内の地価や住宅が県内の他地域に比べ割安で住居を構えやすいこと	その他	無回答
全体	300	81.7	14.7	8.0	22.0	34.7	2.0	35.0	9.3	0.0
10代	12	100.0	25.0	16.7	8.3	25.0	0.0	8.3	0.0	0.0
20代	87	66.7	12.6	8.0	21.8	37.9	3.4	35.6	10.3	0.0
30代	102	85.3	12.7	7.8	22.5	30.4	1.0	36.3	9.8	0.0
40代	63	87.3	12.7	3.2	20.6	33.3	1.6	41.3	4.8	0.0
50代	24	95.8	29.2	16.7	20.8	25.0	4.2	20.8	20.8	0.0
60代	12	83.3	16.7	8.3	41.7	83.3	0.0	41.7	8.3	0.0
70才以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(2) 秦野市の都市づくりへの期待

「地域住民の快適で利便性の高い生活環境や生活条件が一層確保できる都市づくり」が 59.7%と最も比率が高くなっている。次いで「地域にもっと雇用の場が増えるような都市づくり」35.7%、「地域の文化を振興し、文化的レベルを高めるような都市づくり」31.3%、「首都圏の人々が気軽に数多く訪れるような、丹沢山地等を生かした魅力的な観光都市づくり」30.0%とつづく。



年代別では、「地域住民の快適で利便性の高い生活環境や生活条件が一層確保できる都市づくり」はいずれの年代でも 50%を超える高い支持で、その中でも 30代、50代、60代は 60%以上となっている。

「首都圏の人々が気軽に数多く訪れるような、丹沢山地等を生かした魅力的な観光都市づくり」は加齢に伴い比率が増加する傾向がみられる。

Q16 秦野市は市民にとってより住みやすく、より魅力的な都市づくりに取り組もうとしています。あなたはどんなことを基本とする都市づくりを期待しますか。特にそうだと思う点を3つまでお選びください。[MA]

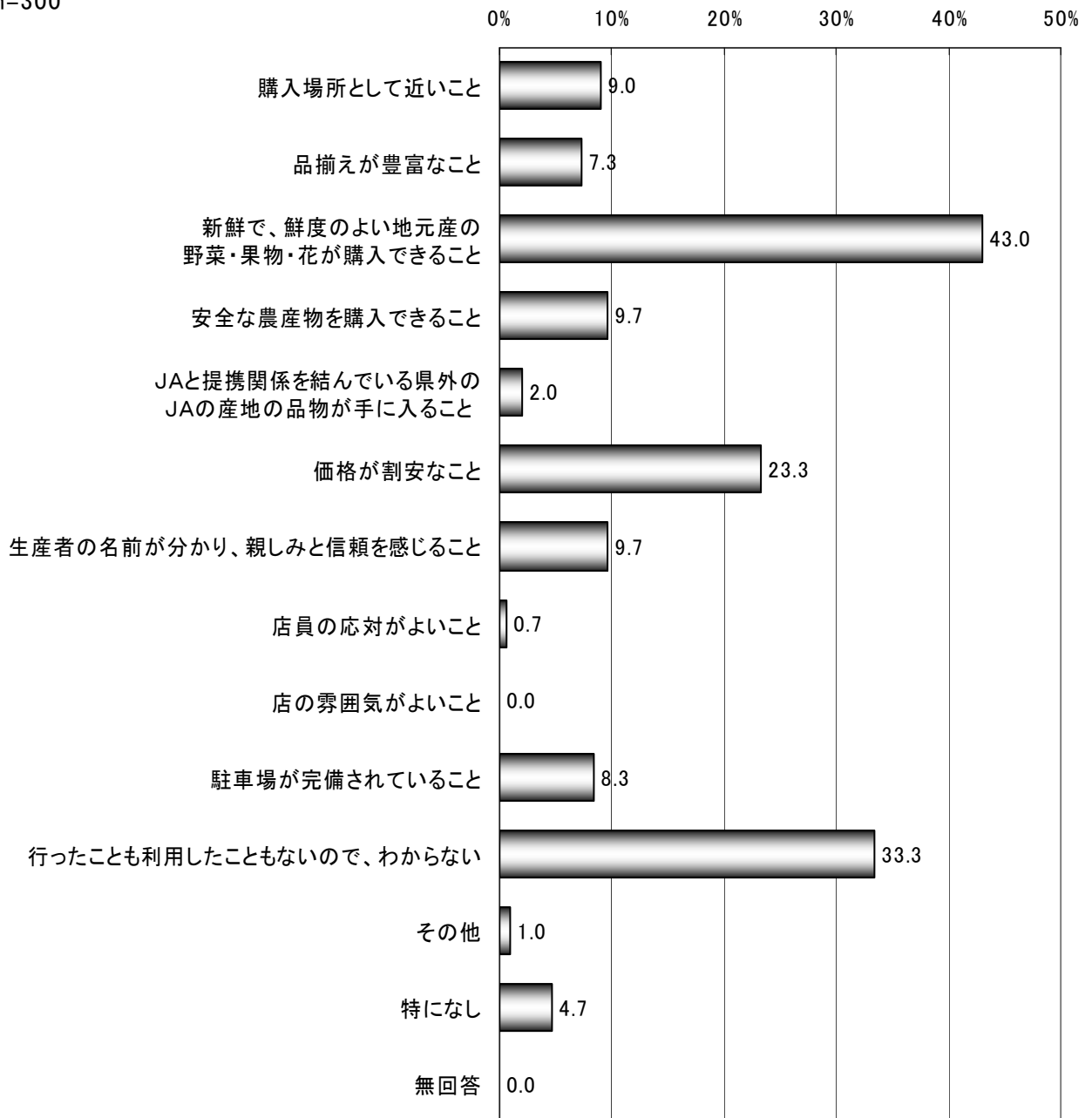
%	全体(実数)	地域にもっと雇用の場が増えるような都市づくり	地域にもっと雇用の場が増えるような都市づくり	地域の山林や里山、農地や農業をもっと活かせる都市づくり	首都圏の人々が気軽に数多く訪れるような、丹沢山地等を生かした魅力的な観光都市づくり	地域の文化を振興し、文化的レベルを高めるような都市づくり	生活環境や生活条件が一層確保できる都市づくり	地域の山林や里山、農地や農業をもっと活かせる都市づくり	その他	無回答
全体	300	35.7	12.7	17.7	30.0	31.3	59.7	25.7	12.3	0.0
10代	12	8.3	0.0	33.3	16.7	33.3	50.0	58.3	16.7	0.0
20代	87	37.9	12.6	16.1	24.1	25.3	54.0	25.3	17.2	0.0
30代	102	35.3	8.8	21.6	27.5	32.4	67.6	19.6	12.7	0.0
40代	63	39.7	12.7	14.3	38.1	33.3	50.8	23.8	9.5	0.0
50代	24	33.3	25.0	12.5	37.5	45.8	62.5	33.3	4.2	0.0
60代	12	33.3	33.3	8.3	50.0	25.0	83.3	41.7	0.0	0.0
70才以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

3 じばさんずについて

(1) じばさんずの評価

「新鮮で、鮮度のよい地元産の野菜・果物・花が購入できること」が 43.0%と最も比率が高くなっている。次いで「価格が割安なこと」23.3%、「安全な農産物を購入できること」と「生産者の名前が分かり、親しみと信頼を感じること」が共に 9.7%とつづく。新鮮、価格、安全・信頼、近いが評価のキーポイントとなっているようだ。

n=300



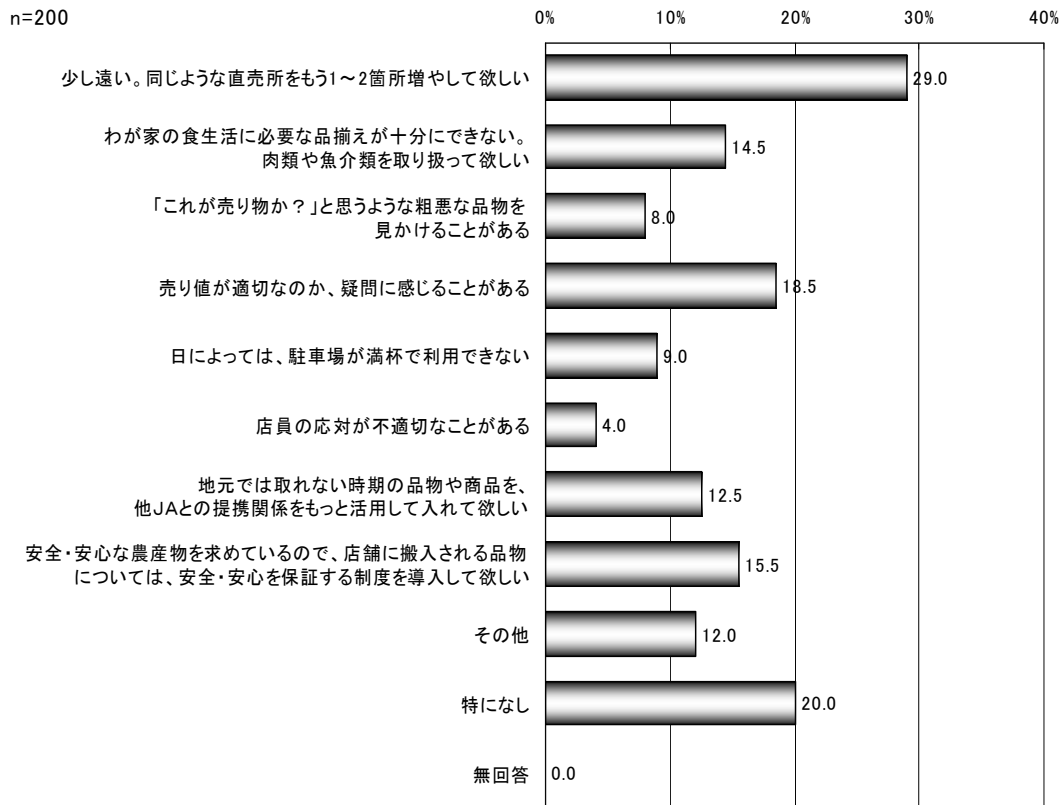
性別では、「新鮮」、「価格」はいずれも女性が男性より8~9ポイント比率が高くなっている。「近さ」は男性が女性より比率が6ポイント高い。

Q37 JAの“じばさんず”を利用して、あなた及びあなたのご家族が、いいなと思う点はどこですか。特に評価される点を2つまでお選びください。[MA]

%	全体（実数）	購入場所として近いこと	品揃えが豊富なこと	新鮮で、鮮度のよい野菜・果物・花が購入できること	安全な農産物を購入できること	J Aと提携関係が手に入るJAの産地の品物	価格が割安なこと	生産者の名前が分かり、親しみと信頼を感じる	店員の対応がよいこと	店の雰囲気がよいこと	駐車場が完備されていること	行ったことも利用しなかったもので、わからない	その他	特になし	無回答
全体	300	9.0	7.3	43.0	9.7	2.0	23.3	9.7	0.7	0.0	8.3	33.3	1.0	4.7	0.0
男性	161	11.8	8.1	39.1	10.6	1.2	19.3	7.5	0.6	0.0	7.5	35.4	1.2	4.3	0.0
女性	139	5.8	6.5	47.5	8.6	2.9	28.1	12.2	0.7	0.0	9.4	30.9	0.7	5.0	0.0

(2) じばさんずへの改善・要望

「少し遠い。同じような直売所をもう1～2箇所増やして欲しい」が29.0%と比率が最も高くなっている。次いで「売値が適切なのか、疑問に感じることがある」18.5%、「安全・安心な農産物を求めているので、店舗に搬入される品物については、安全・安心を保証する制度を導入してほしい」15.5%とつづく。直売所不足、価格、安心・安全、品揃えの確保が今後重要なようである。



性別では、直売所不足と品揃え、粗悪な品物に対しては女性が男性より厳しい意見となっている。反対に、駐車場や売値の適切さでは男性が女性より少し意見が厳しい。

Q38 JAの“じばさんず”を利用して、あなた及びあなたのご家族が、改善して欲しいと思う点はどこですか。特にそう思う点を2つまでお選びください。[MA](その1)

%	全体 (実数)	少し遠い。同じような直売所をもう1～2箇所増やして欲しい	わが家の食生活に必要な品揃えが十分にできない。肉類や魚介類を取り扱って欲しい	「これが売り物か？」と思うような粗悪な品物を見かけることがある	売値が適切なのか、疑問に感じることがある	日によっては、駐車場が満杯で利用できない	店員の対応が不適切なことがある
全体	200	29.0	14.5	8.0	18.5	9.0	4.0
男性	104	26.9	8.7	3.8	20.2	11.5	4.8
女性	96	31.3	20.8	12.5	16.7	6.3	3.1

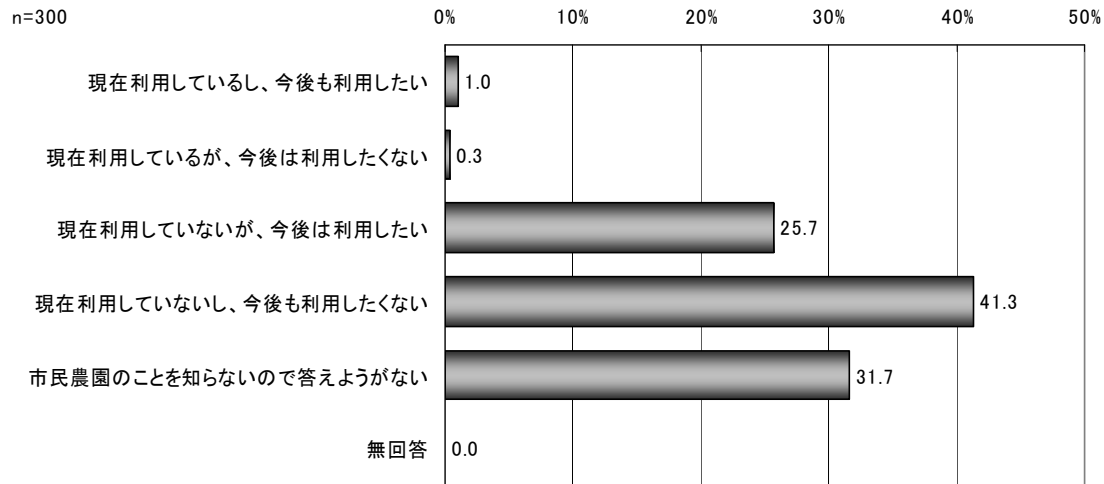
Q38 (その2)

%	全体 (実数)	地元では取れない時期の品 物や商品を、他JAとの提 携関係をもっと活用して入 れて欲しい	安全・安心な農産物を求め ているので、店舗に搬入さ せている品物について、安 全・安心を保証する制度を 導入して欲しい	その他	特になし	無回答
全体	200	12.5	15.5	12.0	20.0	0.0
男性	104	15.4	13.5	9.6	24.0	0.0
女性	96	9.4	17.7	14.6	15.6	0.0

4 市民農園について

(1) 市民農園の利用希望

「現在利用しているし、今後も利用したい」は1.0%、「現在利用しているが、今後は利用したくない」0.3%、「現在利用していないが、今後は利用したい」25.7%、「現在利用していないし、今後も利用したくない」41.3%となっている。現在の利用率は低いものの、今後の利用意向はかなり高いものとなっている。



性別では、今後の利用意向は男性が女性より少し高い傾向となっている。

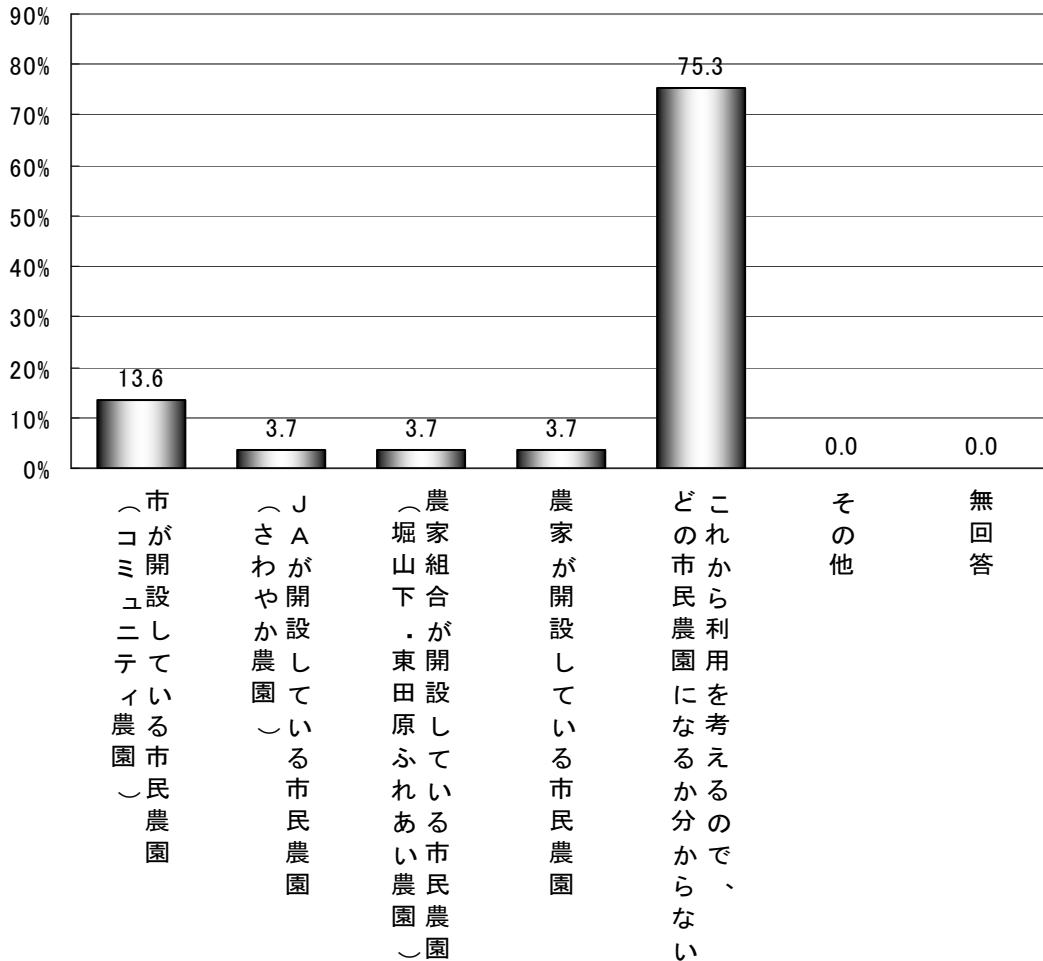
Q40 あなた、またはあなたのご家族は、今後、市民農園を利用する希望を持っておられますか。1つお選びください。[SA]

%	全体 (実数)	後現 も在 利用 した いた い る し、 今	後現 は在 利用 した いた くない が、 今	今現 後は 利用 して いた くない が、	今現 後は 利用 して いた くない し、	い市 の民 で農 答園 えの よこ うと がを 知ら いな	無 回 答
全体	300	1.0	0.3	25.7	41.3	31.7	0.0
男性	161	1.2	0.6	29.2	36.0	32.9	0.0
女性	139	0.7	0.0	21.6	47.5	30.2	0.0

(2) 利用している（利用したい）市民農園

「これから利用を考慮するので、どの市民農園になるか分からない」が75.3%と非常に多くなっている。「市が開設している市民農園」13.6%とつづき、後は皆3.7%であった。

n=81



性別では、どちらかという「農家が開設している市民農園」は男性志向、「J Aが開設している市民農園」は女性志向の傾向がうかがえる。

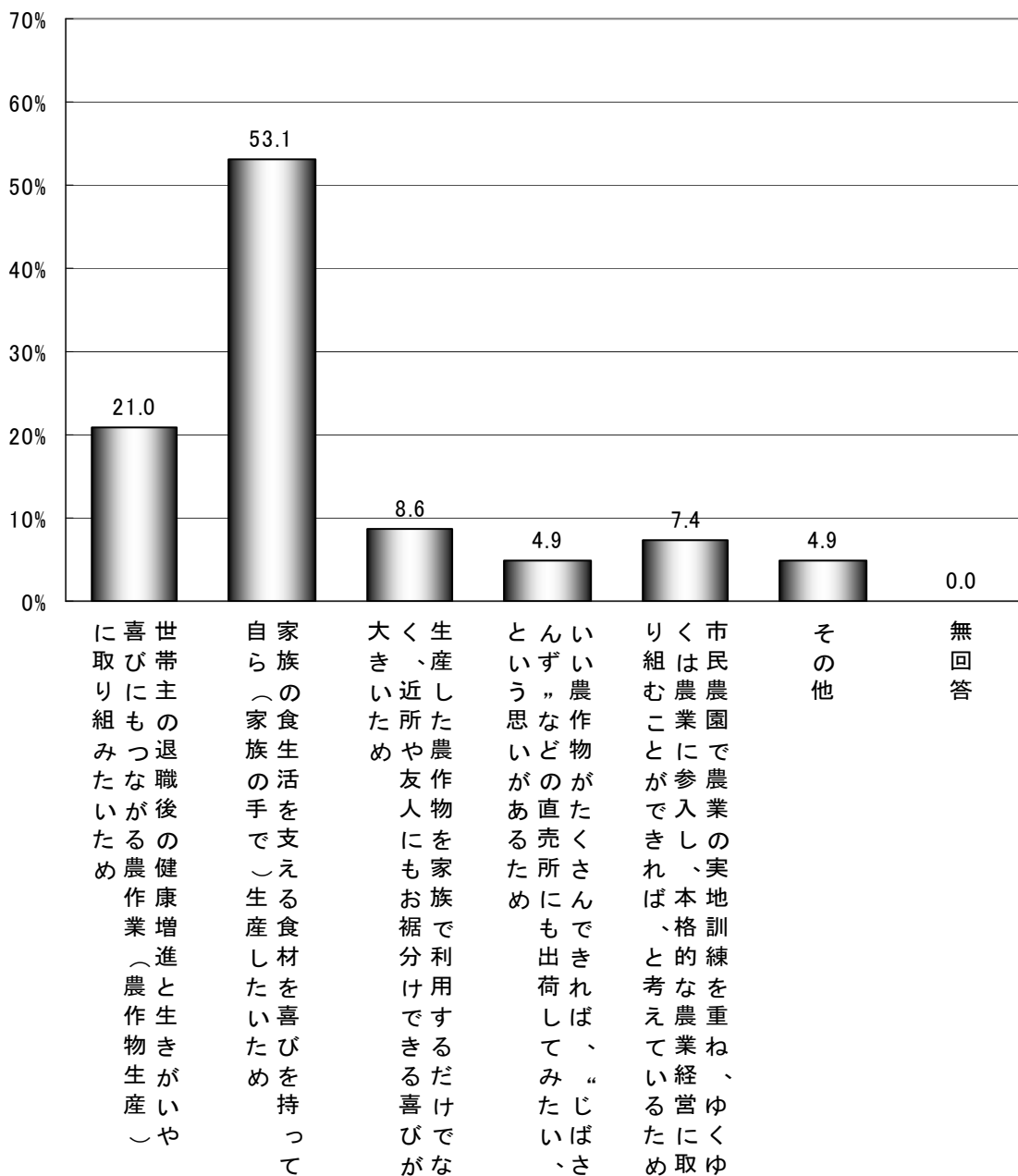
Q41 現在利用しておられる(または利用したいと考えている)市民農園は、次のどれですか。1つお選びください。[SA]

%	全体 (実数)	市が開設している市民農園 (コミュニティ農園)	農園 J Aが開設している市民農園 (さわやか農園)	原市農家組合が開設している市民農園 (堀山下・東田ふれあい農園)	農家が開設している市民農園	か分からぬ	で、この市民農園になるの	その他	無回答
全体	81	13.6	3.7	3.7	3.7	75.3	0.0	0.0	
男性	50	14.0	2.0	4.0	6.0	74.0	0.0	0.0	
女性	31	12.9	6.5	3.2	0.0	77.4	0.0	0.0	

(3) 市民農園の利用理由

「家族の食生活を支える食材を喜びをもって自ら（家族の手で）生産したいため」が 53.1%と最も比率が高くなっている。次いで「世帯主の退職後の健康増進と生きがいや喜びにもつながる農作業（農作物生産）に取り組みたいため」21.0%とつづく。これが市民農園の利用の2大理由となっている。

n=81



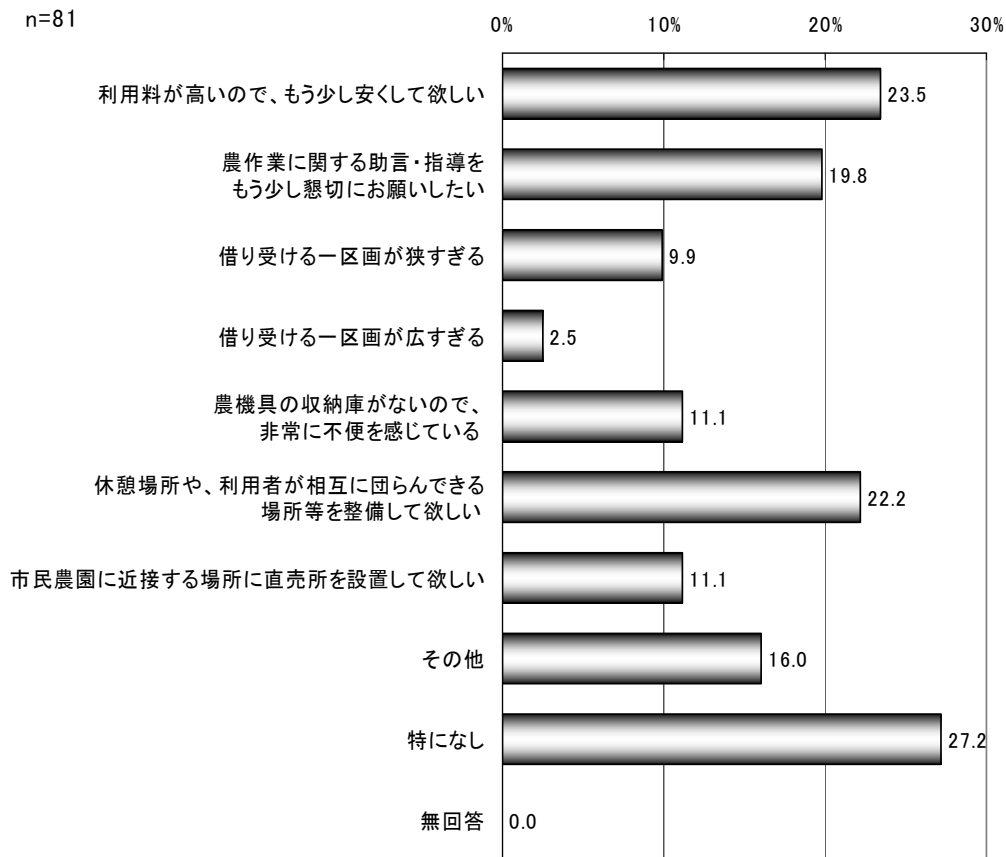
性別では、「家族の食生活を支える食材を喜びをもって自ら（家族の手で）生産したいため」は女性が男性より 18 ポイント強比率が高い。反対に「世帯主の退職後の健康増進と生きがいや喜びにもつながる農作業（農作物生産）に取り組みたいため」は男性が女性より 8 ポイントほど比率が高くなっている。

Q42 「市民農園」を利用されている方(家族)、または、これから利用しようと希望しておられる方(家族)の、利用の理由は次のうちどれですか。最も近いものを1つお選びください。[SA]

％	全体 (実数)	にとる組 み た い た め 物 生 産)	がとる組 み た い た め 物 生 産)	世帯主の 退職後の 健康増進	のを家 手喜族 でびの ～を食 生持生 産つ活 した自 いらえ た(る め家食 族材	び友用生 が人す産 大にるし きもだた いおけ農 た裾で作 め分な物 けくを で、家 き近族 る所で 喜や利	いのれい 、直ばい と売、農 い所“作 うにじ物 思もばが い出さた が荷んく あしずさ るて”ん たみなで めたどき	ばに参を市 、取入重民 とりしね農 考組、園 えむ本ゆ てこ格く農 いと的ゆ るがな業 たで農は めき業農 れ経業地 営に訓 練	そ の 他	無 回 答
全体	81	21.0	53.1	8.6	4.9	7.4	4.9	0.0		
男性	50	24.0	46.0	8.0	8.0	8.0	6.0	0.0		
女性	31	16.1	64.5	9.7	0.0	6.5	3.2	0.0		

(4) 市民農園への改善・要望

「利用料が高いので、もう少し安くしてほしい」が23.5%と最も比率が高くなっている。次いで「休憩場所や、利用者が相互に団らんでできる場所等を整備してほしい」22.2%、「農作業に関する助言・指導をもう少し懇切にお願いしたい」19.8%とつづく。利用価格と市民農園のもう少しの機能アップを望んでいるようだ。



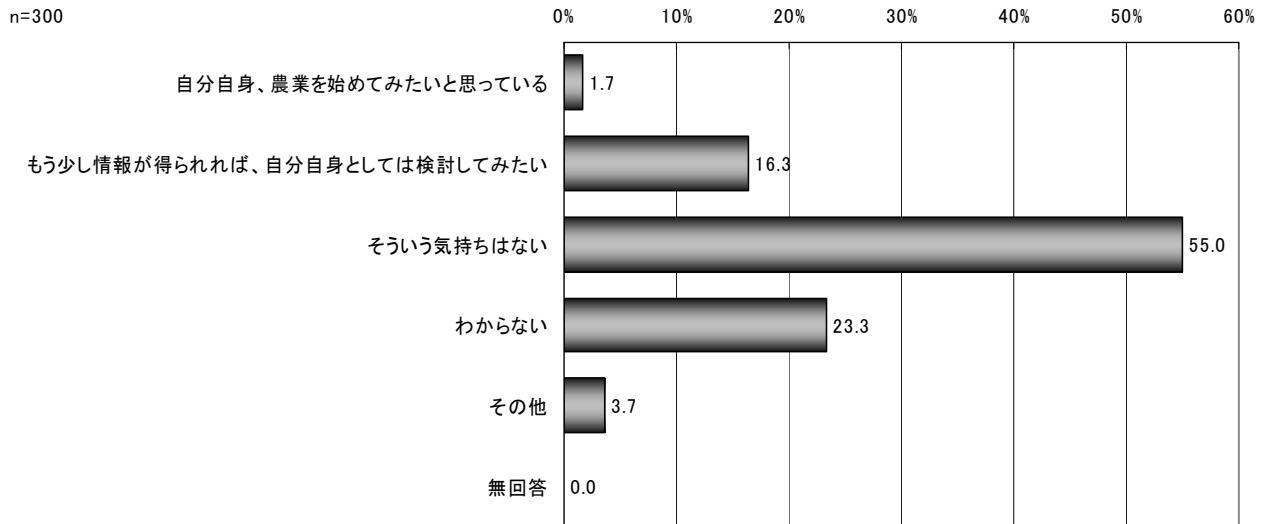
性別では、「利用料が高いので、もう少し安くしてほしい」は女性が男性より9ポイント比率が高い。「農作業に関する助言・指導をもう少し懇切にお願いしたい」、「休憩場所や、利用者が相互に団らんでできる場所等を整備してほしい」、「借り受ける一区画が狭すぎる」は男性が女性より少し比率が高い。

Q43 市民農園の利用者(または利用を検討している者)の立場から、その改善要望点をお聞かせください。あてはまるものを全てお選びください。[MA]

%	全体(実数)	少利用料が高いので、もう少し	農作業に関する助言・指導をもう少し懇切にお願いしたい	借り受ける一区画が狭すぎる	借り受ける一区画が広すぎる	農機具の収納庫がないので、非常に不便を感じている	休憩場所や、利用者が相互に団らんでできる場所等を整備してほしい	市民農園に近接する場所に直売所を設置してほしい	その他	特になし	無回答
全体	81	23.5	19.8	9.9	2.5	11.1	22.2	11.1	16.0	27.2	0.0
男性	50	20.0	22.0	12.0	0.0	8.0	24.0	12.0	14.0	30.0	0.0
女性	31	29.0	16.1	6.5	6.5	16.1	19.4	9.7	19.4	22.6	0.0

5 農業への参入について

「そういう気持ちはない」が55.0%と半数以上であった。「自分自身、農業を始めてみたいと思っている」は1.7%、「もう少し情報が得られれば、自分自身としては検討してみたい」は16.3%となっている。「検討してみたい」が16.3%もいるので、そういう人への効果的働きかけが今後重要と思われる。



性別では、「もう少し情報が得られれば、自分自身としては検討してみたい」は男性が女性よりその意向が高い傾向となっている。

Q50 市内には、農業を始めてみたいと思われる一般市民の方々に、農業参入への道筋をつける秦野市民農業塾がありますが、あなたは、農業を始めてみたい、というお気持ちをお持ちでしょうか。1つお選びください。[SA]

%	全体 (実数)	自分自身、農業を始めてみたいと思っている	もう少し情報が得られれば、自分自身としては検討してみたい	そういう気持ちはない	わからない	その他	無回答
全体	300	1.7	16.3	55.0	23.3	3.7	0.0
男性	161	2.5	18.6	53.4	23.0	2.5	0.0
女性	139	0.7	13.7	56.8	23.7	5.0	0.0

年代別では、「もう少し情報が得られれば、自分自身としては検討してみたい」は加齢に伴い比率が増加する傾向がみられる。「自分自身、農業を始めてみたいと思っている」は30代、50代で比率が高い。60代以上もそういう気持ちは高いと思われるが、ネット調査とサンプル数の少なさという制約で今回は60代以上の把握は不十分であった。

Q50 市内には、農業を始めてみたいと思われる一般市民の方々に、農業参入への道筋をつける秦野市民農業塾がありますが、あなたは、農業を始めてみたい、というお気持ちをお持ちでしょうか。1つお選びください。[SA]

%	全体 (実数)	自分自身、農業を始めてみたいと思っている	もう少し情報が得られれば検討してみたい	そういう気持ちはない	わからない	その他	無回答
全体	300	1.7	16.3	55.0	23.3	3.7	0.0
10代	12	0.0	0.0	83.3	16.7	0.0	0.0
20代	87	0.0	16.1	50.6	27.6	5.7	0.0
30代	102	3.9	18.6	52.0	22.5	2.9	0.0
40代	63	0.0	15.9	57.1	25.4	1.6	0.0
50代	24	4.2	25.0	45.8	16.7	8.3	0.0
60代	12	0.0	0.0	91.7	8.3	0.0	0.0
70才以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0